

令和4年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

<b>事業名</b>	革新的研究開発の推進			<b>担当部局庁</b>	科学技術・イノベーション推進事務局	<b>作成責任者</b>				
<b>事業開始年度</b>	平成22年度	<b>事業終了(予定)年度</b>	終了予定なし	<b>担当課室</b>	参事官(未来革新研究推進担当)	龍澤 直樹				
<b>会計区分</b>	一般会計									
<b>根拠法令(具体的な条項も記載)</b>	内閣府設置法(平11法89)第4条、第40条の4			<b>関係する計画、通知等</b>	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定) ムーンショット型研究開発制度の基本的考え方について(平成30年12月CSTI本会議決定)など					
<b>主要政策・施策</b>	科学技術・イノベーション			<b>主要経費</b>	その他の事項経費					
<b>事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎研究段階にある独創的な知見・アイデアを取り入れた挑戦的研究開発を行うムーンショット型研究開発制度(以下「MS」という。)を推進する。</li> <li>ImPACT運用基本方針(CSTI革新的研究開発推進会議決定)等に基づき、ImPACT事業のフォローアップ(研究成果の追跡調査等)を推進する。</li> <li>「最先端研究開発支援プログラム」(以下「FIRST」という。)及び「最先端・次世代研究開発支援プログラム」(以下「NEXT」という。)の追跡調査を実施する。</li> </ul>									
<b>事業概要(5行程度以内。別添可)</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>総合科学技術・イノベーション会議として、MSの戦略的な推進、関係府省の連携・推進等のため、会議の運営、現地調査、情報の収集・分析等を行う。また、研究開発の加速および社会実装に向け分野横断的支援、および国内外に向けた情報発信を推進する。</li> <li>総合科学技術・イノベーション会議として、ImPACT 16プログラムの追跡調査等を効率的に実施するため、会議の運営、現地調査、情報の収集・分析等を行う。</li> <li>総合科学技術・イノベーション会議として、FIRST及びNEXTの追跡調査等を効率的に実施するため、会議の運営、現地調査、情報の収集・分析等を行う。</li> </ul>									
<b>実施方法</b>	直接実施									
<b>予算額・執行額(単位:百万円)</b>			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求			
	予算の状況	当初予算	6.5	3.2	3.4	9.3	15.5			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	0			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	-	-	-	-	-			
	計		6.5	3.2	3.4	9.3	15.5			
	執行額		7.7	0.6	0.5					
執行率(%)		119%	20%	13%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		119%	20%	13%						
<b>令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)</b>	<b>歳出予算目</b>	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	科学技術基礎調査等委託費	5.8	11.8	革新的研究開発に関する情報を国民・海外研究者に広く発信するための広報活動を行うための経費を計上したことによる増						
	委員等旅費	2.1	2.1							
	諸謝金	0.6	0.7							
	庁費	0.6	0.6							
	職員旅費	0.2	0.3							
	計	9.3	15.5							
<b>活動内容(アクティビティ)</b>	ムーンショット型研究開発制度の戦略的な推進、関係府省等の連携・調整等を図るための会議を開催する。また、研究開発の加速および社会実装に向け分野横断的支援、および国内外に向けた情報発信(アンバサダーイベント開催等)を推進する。ハイリスク・ハイインパクトかつ挑戦的な研究開発(ムーンショット、ImPACT)の現地調査を実施する。									
<b>活動目標及び活動実績(アウトプット)</b>	<b>活動目標</b>	<b>活動指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	「戦略推進会議」「横断的支援のための会議」「情報発信のためにイベント」を開催する	「ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議」「横断的支援のための会議」及び「情報発信のためのイベント」の開催回数	活動実績	回	15	5	4	-	-	
			当初見込み	回	17	6	6	6	-	
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	推進関係会議の開催経費/開催回数			単位当たりコスト	千円/回	180.9	77	62.5	-	
				計算式	経費/回	2,714千円/15回	385千円/5回	250千円/4回	-	
<b>成果目標及び成果実績(アウトカム)</b>	<b>定量的な成果目標</b>	<b>成果指標</b>		<b>単位</b>	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標4年度	目標最終年度	
	ムーンショット型研究開発制度及びImPACTの研究成果に関するプレスリリース	ムーンショット型研究開発制度およびImPACTのプレスリリース数	成果実績	回	-	-	-	-	-	
			目標値	回	-	-	-	10	-	
			達成度	%	-	-	-	-	-	
<b>根拠として用いた統計・データ名(出典)</b>	「ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議」「横断的支援のための会議」及び「情報発信のためのイベント」の開催回数									

活動目標及び活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	ムーンショット型研究開発制度の戦略的な推進のために、研究活動状況を把握する。ImPACTについても、追跡調査のための活動を実施する		現地調査の実施数	活動実績	回	18	4	6	-	-	
当初見込み				回	56	18	18	30	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	現地調査の経費/調査回数			単当たりコスト	千円/回	2.1	0	34.3	-		
				計算式	経費/回	38千円/18回	0千円/4回	206千円/6回	-		
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	ムーンショット型研究開発制度に係るPM数、ImPACTに係るPM数および現地調査実施数										
政策評価、 との関係	政策評価	政策									
		施策	政策評価書 URL	-							
	新経済・財政再生計画改革工程表 2021	取組事項	分野:	-	-						
			(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-	-						
		該当箇所	-								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	科学技術イノベーションの創出は、我が国経済の再生に向けた原動力であり、今後、社会のあり方を飛躍的に変え、パラダイムシフトを引き起こす力の源泉となり得るものとして、経済界からも国家の重要戦略として推進することが求められている。このため、失敗を許容しながら困難な社会課題の解決を目指すImPACTおよびMSは、我が国社会のニーズを反映したものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	第6期科学技術・イノベーション基本計画等に革新的研究開発の推進は重要な施策と位置付けられており、他の先進諸国が進める科学技術政策との関係においても、政府が体系的・計画的に推進することが必要な施策であることから、MSの進捗管理は国が自ら行い、地方自治体や民間では行い得ないものである。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	我が国経済の再生等に向け、科学技術イノベーションの創出が求められる中、MSは、総合科学技術・イノベーション会議が主導する科学技術イノベーション創出のための重要な手段(施策)のひとつとして、第6期科学技術・イノベーション基本計画等に位置付けられており、その効果的な推進を図る本事業は、政策目的の達成に必要な優先度が極めて高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札を行うなど、競争性を確保している。また、複数の業者から見積書を徴取した上で選定するなど適切に支出先の選定を行っている。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	無	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	会議運営経費や各研究開発拠点での調査のための旅費等、MS推進等に係る必要最小限の支出を行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	会議運営経費や各研究開発拠点での調査のための旅費等、MS推進等に係る必要最小限の支出を行っている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	△	新型コロナウイルス感染症拡大に起因する緊急事態宣言およびまん延防止対策等重点措置のため、会議はオンライン開催で代替したが、現地調査は中止せざるを得ず、計上した旅費等の不用額が大きくなったことによる。
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	会議の開催に当たっては、事前に綿密な打合せを行い、限られた時間内で効率的な意見交換・議事進行ができるよう努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	MS推進のためのムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議も必要最低限の開催数であり、いずれも成果目標に見合った実績である。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	事業実施にあたり、事前に手段・方法を検討しながら進めており、低コストかつ効果的に事業実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	会議や現地調査の回数は、当初見込みを考慮しつつ、その時々事情に応じて効果的かつ柔軟な執行に努めており、活動実績として妥当なものである。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議の助言を元に、次年度の研究開発の進め方について検討を行った。また、新たな2つの目標のプロジェクトマネージャーを採択した。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議は、MSの推進に際して、外部有識者に助言いただくためのものであり、その実施に当たっては、回数や所要人員等を精査するとともに、事前に十分な打合せや情報収集を行うことで効率化に努めている。	
	改善の方向性	引き続き、ムーンショット型研究開発制度等について、経費の効果的・効率的な執行を図るよう適切な進捗管理を行う。	

外部有識者の所見

アウトプット、アウトカム の測定方法が抽象的過ぎるのではないか。MSでも、従前の手法のどこに着目してBreakthroughを図ろうとしているのか、年度当初の予想との相違等は算定可能。一定の客観的基準がないと、MSの遂行に緊張感がなくなると思われる。

行政事業レビュー推進チームの所見

通現  
り状

有識者の所見を踏まえ、事業の適切な進捗管理、予算の効率的執行に努めること。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現  
状  
通  
り

ムーンショット型研究開発制度の研究開発活動費用は、関係府省において基金を創設し執行している。内閣府においては、関係府省と連携して戦略推進会議の開催、横断的支援のための会議開催、情報発信のためのイベント開催を実施する事としている。そのため、その役割を考慮したアウトプット、アウトカムを設定している。令和3年度は新型コロナの行動制限のため見込みと実績に乖離が発生したが、令和4年度以降は、計画通り推進する予定である。

備考

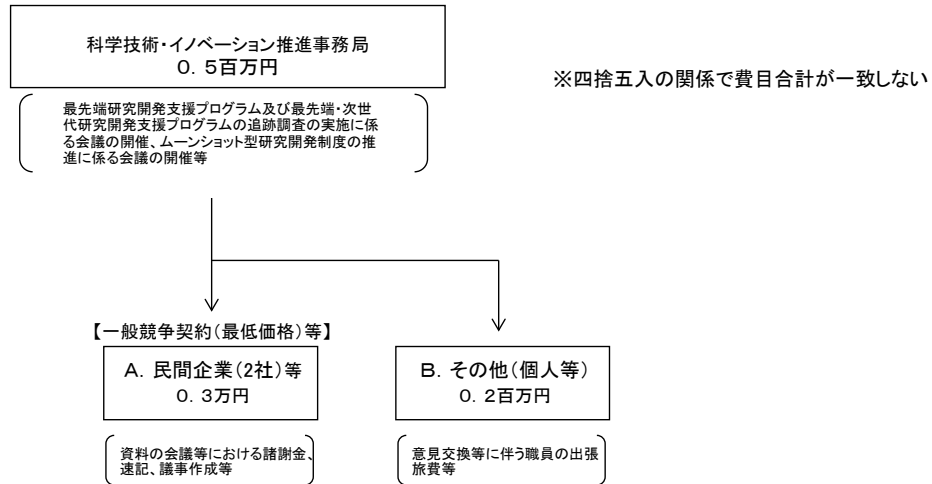
- ・本事業については、総合科学技術・イノベーション会議においても進捗の確認等を行っている。
- ・アウトカム の目標値について、各年度終了時の実績に基づき次年度の目標を設定している。このため、向こう3年以内の目標設定は困難である。
- ・また、上記理由により、事業終了年度の目標値も現時点では明確に設定できないため、便宜上、目標を設定できる令和2年度の目標値を記載している。
- ・アウトプット の活動見込みについて、各年度終了時に次年度の当初見込みが明らかになるため、令和5年度の活動見込みを設定することは困難である。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	0050			
平成24年度	0058			
平成25年度	0135			
平成26年度	0132			
平成27年度	0145			
平成28年度	0138			
平成29年度	0144			
平成30年度	0160			
令和元年度	内閣府	0160		
令和2年度	内閣府	0163		
令和3年度	2021	府 20	0176	

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位: 百万円)



※四捨五入の関係で費目合計が一致しない

費目・使途  
(「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(株)会議録研究所			B.個人A		
費目	使途	金額(百万円)	費目	使途	金額(百万円)
庁費	ムーンショット型研究開発制度に係る戦略推進会議 速記・議事録作成、飲料水提供	0.1	職員旅費	MS型研究開発制度に関する意見交換等	0
計		0.1	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社会議録研究所	6011101004370	速記・議事録作成	0.1	一般競争契約 (最低価格)	2	-	落札率については、予定価格が推測されるため非公表。
2	株式会社福本園	4013301011504	会議用飲料購入	0	随意契約 (少額)	1	-	共同調達のため。
3	個人A	-	会議に伴う旅費・謝金	0	その他	-	-	
4	個人B	-	会議に伴う旅費・謝金	0	その他	-	-	
5	個人C	-	会議に伴う旅費・謝金	0	その他	-	-	
6	個人D	-	会議に伴う旅費・謝金	0	その他	-	-	
7	個人E	-	会議に伴う旅費・謝金	0	その他	-	-	
8	個人F	-	会議に伴う旅費・謝金	0	その他	-	-	
9	個人G	-	会議に伴う旅費・謝金	0	その他	-	-	
10	個人H	-	会議に伴う旅費・謝金	0	その他	-	-	
11	個人I	-	会議に伴う旅費・謝金	0	その他	-	-	

B

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A	-	視察に伴う旅費	0	その他	-	-	
2	個人B	-	視察に伴う旅費	0	その他	-	-	
3	個人C	-	視察に伴う旅費	0	その他	-	-	
4	個人D	-	視察に伴う旅費	0	その他	-	-	
5	個人E	-	視察に伴う旅費	0	その他	-	-	
6	個人F	-	視察に伴う旅費	0	その他	-	-	
7	個人G	-	視察に伴う旅費	0	その他	-	-	